

伝統の左官材料はいいけど、よくわからないなあ～
匠に役立つ左官材料の選び方

Vol. 4

日本の伝統木舞下地荒壁

一般的な木舞荒壁下地について



日本の土壁・漆喰壁で暮らしを変える会社。

日本の塗り壁
Wall Japan

木舞荒壁下地と荒壁土

近畿壁材工業の事例

匠に役立つ社内勉強会レポート

左官材料メーカーとして材料を販売する立場から伝統左官工法について毎月勉強会を行い、近畿壁材工業(株)の知見によりそれら伝統工法に使われる材料についてまとめている事例集で施工を保障するものではありません。

木舞下地 【こまいしたじ】

現存する日本最古の木造建築法隆寺金堂や五重塔にも使われている木舞下地。様々な文献を見ると通常は小舞荒壁となっているがどちらも当て字で古文書には古万比と書かれているらしい。正解がどちらとは決まっていないが、当社では昔から(木)舞下地と表記してきたのでこのように表記しております。



荒壁土 【あらかべつち】

関東では荒木田土などが有名であるが、基本全国各地で採る事のできる粘土に藁すさを入れたものである。当社では花崗岩が風化してできる真砂土と淡路中塗り土(粘土粉土)を混ぜ配合する。「強度の強い粘土」と表現される事が多いが、そもそも全国各地それぞれの配合で作られていた荒壁土、地域によっては砂利や砂を配合する場合もあり、その根拠を示すことは当社では出来ませんでした。淡路土は昔から強度には定評があります。



淡路真砂土



真砂土は、淡路島各所で採ることの出来る山土です。長い年月により花崗岩が風化して出来る真砂土は、たたきにも使える程よい砂利と砂と粘土が混ざっており、入れることで荒壁の鏝離れなどの作業性を向上させる事が出来ます。

淡路粉土(粘土)



淡路粉土(淡路土:粘土)は極めて小さな粘土粒子を多く含む土で水を含むことで高い粘性と保水性を持ち、乾燥後の強度もありますが、乾燥収集が大きく施工性も良くないことから他の材料との配合で調整が必要です。

淡路稲藁



収穫後の稲藁を10cm程度にカットして土と混ぜます。荒壁の亀裂防止はもちろん、鏝離れ、鏝すべりを良好にし、長期間(6か月以上)の水合わせにより腐敗と発酵によりより少々水でも流れ落ちない強さができます。

水合わせ（荒壁土の配合）

伝統の三和土材料を求めお客様への情報提供の一環として、社内での試験施工を行いました。材料は各種文献を参考に、現在でも比較的入手が容易で当社でも在庫、販売が可能な物を利用し、下地・配合・工法・養生等の検証を行いました。



淡路島の練土



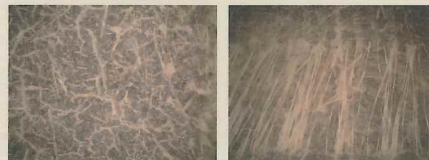
淡路島の土採り場

三州、石州と並んで瓦の日本三大産地でもある淡路島では、屋根土としてもドロコンはまだまだ必需品です。

淡路真砂土と淡路粉土を程よくブレンドした練土は、人気があり阪神間以外にも全国に出荷しております。



ドロコンの混練



古民家のリフォームで出てきた40年以上前の淡路土の壁面

竹木舞の材料

間渡し竹

淡路島では、割り竹を間渡し竹に使う習慣が無く、真直ぐな女竹(丸竹)が使われています。しかし、現状は海外からの輸入に頼っておりますが製品としては一応に伐採の季節を守って冬前に伐採し、十分に乾燥させてから日本に届くそうです。今回の勉強会は社員が自宅近くの山で採取しました。《製品サイズは3mで直径は12~15mm程度(中国産)》



間渡し竹

割り竹

残念ながら割り竹も現在淡路島で製造している業者は無く他県からの購入になり一般的には直径5、6cm程度の真竹が使われています。これを竹割機で2cm程度の幅に割り、節の部分を削り落してから使います。《製品サイズは3mで幅2cm程度50本/束(国産)》



割り竹

木舞縄

竹同様に木舞下地作りには欠かせない縄も現在は京都や新潟、秋田などから入手しております。太さ4mm程度の藁縄にこだわり編んで頂いておりますが、強度などの問題から現状は藁だけでなく麻繊維も一緒に編み込まれており、強度を維持しております。

《製品サイズは50m/1カセで太さ約4mm 梱包60入》

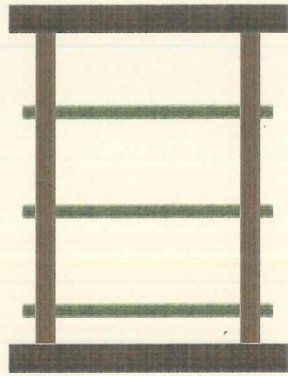


木舞縄

勉強会での木舞搔きの手順一例

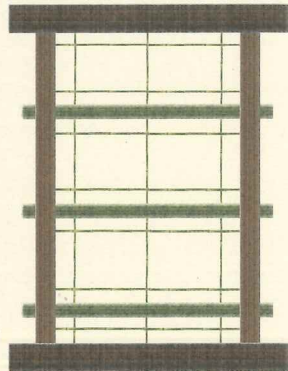
このレポートは社内での検証であり、当社製品としての施工要領ではなく施工の一例である。

その一
貫



木舞荒壁は、現在壁倍率は平成 15 年の告示改正により 1.0 と 1.5 の壁倍率が追加されました。よって荒壁塗りを耐力壁として木造建築を設計することが可能だそうです。ただ告示の使用規定と日本全国の材料や工法が違うことから活かされていない現実もあるそうです。

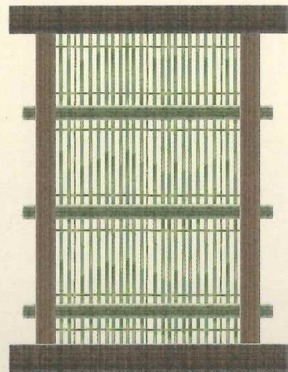
その二
間渡し竹



柱に穴を開け、縦横の間渡し竹を入れ、縦の間渡し竹は貫に釘で固定しました。地域によっては間渡し竹を割り竹や葦などで搔く地域もありその地域性によって工法が変わるのが魅力的です。



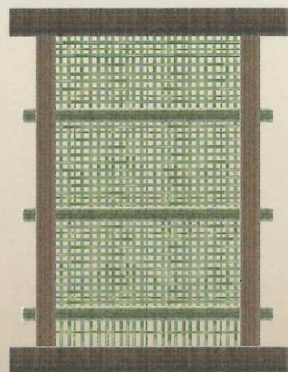
その三
縦割り竹



縦から搔くのか？横から搔くのか？通常は縦からが多いようですが、今回社内では横から搔きました。縄は緩まないようにしっかりと編み、丁寧さはもちろんですが要領よくスピードも重要です。



その四
横割り竹



淡路島全てではありませんが、貫の下に割り竹を裏返して 1 本取り付けます。また貫に木舞縄を巻きつけることもあります。手間ですし、柱の太さによっては必要ないようです。本当に木舞荒壁には答えが無く各地域の伝統工法として継承されています。



貫伏せ、大直し(斑直し)を行って完成！次回は淡路中塗り土について社内境界を勉強会を行います。

今回検証した伝統素材を取り揃えております。

淡路島産 荒壁練土



貫の厚みや塗り付けの厚みによりますが、1坪 (3.3 m²)に約 10袋必要。裏返し塗りを行う場合は約 4袋必要、表裏 1坪に対し 14袋程度を目安にご利用下さい。

規格・容量	20 kg
梱包単位	1袋
出荷単位	1袋単位
性状・材質	練り状・土砂砂利
納期・在庫	要確認
備考	荒すさを入れて下さい。

荒すさ



淡路荒壁練土 5袋 (100kg)に 1袋混入してください。十分な水あわせを行い藁を腐らせ、使用前に荒壁練土 1袋に対し 50g程度追加することで塗りやすくなります。

規格・容量	約 800g/袋
梱包単位	1袋
出荷単位	1袋単位
性状・材質	稲藁 (淡路産)
納期・在庫	在庫有
備考	サイズ: 約 10cm

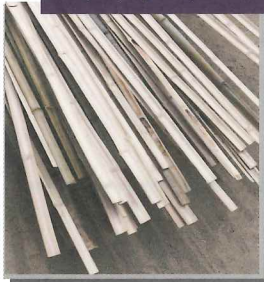
木舞縄



編む長さ (間渡し)に対して約 2倍の長さが必要です。間渡し竹の入れる本数にもよりますが、1坪 (3.3 m²)で約 1束 50m 必要です。貫部分に巻きつける場合は編む距離の約 6倍必要です。

規格・容量	長50m 太4~6mm
梱包単位	1梱包/60総(かせ)
出荷単位	1梱包単位
性状・材質	藁 (麻 強度保持の為 若干量混入)
納期・在庫	要確認
備考	季節により欠品有

木舞竹 (割り竹)

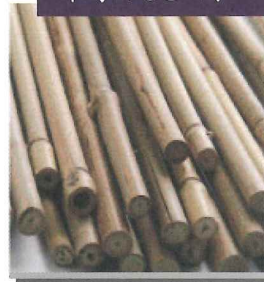


1束 50本で約 1坪 (3.3 m²)



規格・容量	長 3m 幅約 25 mm
梱包単位	1束/50本
出荷単位	1束単位
性状・材質	竹 (割り竹)
納期・在庫	要確認
備考	1束約 1坪分

間渡し竹



真っ直ぐで肉厚の製品が良い。現在中国産の物で品質は安定していますが、輸入状況により在庫状況が変わりますご注意ください。

規格・容量	長 3m 約 15 mm
梱包単位	1束/100本
出荷単位	1束単位
性状・材質	竹 (女竹・中国産)
納期・在庫	要確認
備考	間渡し



様々な伝統左官材料を取り扱っております。
お気軽にお問い合わせ下さい。

ご用命は⇒近畿壁材工業(株)
電話 0799-85-1147